

2019年5月21日



(証券コード:7995)



株式会社バルク

2019年3月期 決算説明会

*本資料上の予想・計画数値は、作成日において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績とは異なる可能性があります
*本資料上の変動率(%)の算出にあたっては、可能な限り円単位に基づいた計算をしており、百万円単位での計算とは異なる場合があります



▶ 2019年3月期
連結決算・事業概況

▷ 中期経営計画
“NV・S8” 戦略実行状況

▷ 2020年3月期
予想・計画



▶ **売上高・利益とも過去最高の実績を更新** ◀
— 6期連続の売上高・営業利益拡大 —

	2017年3月期 (前期比)	2018年3月期 (前期比)	2019年3月期 (前期比)
売上高	43,640 (+6.1%)	47,592 (+9.1%)	51,243 (+7.7%)
営業利益	4,065 (+30.1%)	5,374 (+32.2%)	5,609 (+4.4%)
親会社株主に 帰属する 純利益	2,348 (+34.0%)	3,833 (+63.2%)	4,087 (+6.6%)
売上総利益率	35.1%	36.8%	37.3%
営業利益率	9.3%	11.3%	10.9%
ROE	8.3%	12.3%	12.4%

(百万円)

対前期収益
主要変動要因

＜増収・増益要因＞

- ・先端産業・機器市場向け売上の拡大
- ・CGコードに基づいた政策保有株式の売却

＜収益押し下げ要因＞

- ・事業環境悪化による影響(下期)
- ・先行投資負担の増加
- ・人件費など販管費の上昇
- ・一部子会社の「のれん」減損



営業利益・純利益は
修正予想値に対し未達



バランスシート・キャッシュフロー推移

2019年3月期

連結決算・事業概況



営業CF・フリーCFが増加



	2017年3月期 末	2018年3月期 末	2019年3月期 末
負債合計	15,801	16,008	15,157
純資産合計	30,849	34,592	34,378
負債純資産 合計	46,651	50,600	49,535

	2017年3月期 末	2018年3月期 末	2019年3月期 末
自己資本 比率	62.7%	65.3%	66.2%

有利子負債	5,086	4,259	3,744
ネット 有利子負債	▲1,166	▲2,255	▲3,364

(百万円)

キャッシュ・ フロー	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
営業CF	3,674	3,899	5,362
投資CF	▲2,120	▲1,190	▲1,960
フリーCF	1,553	2,709	3,402

(百万円)



営業利益変動要因分解

2019年3月期

連結決算・事業概況

持続的な成長に向けた

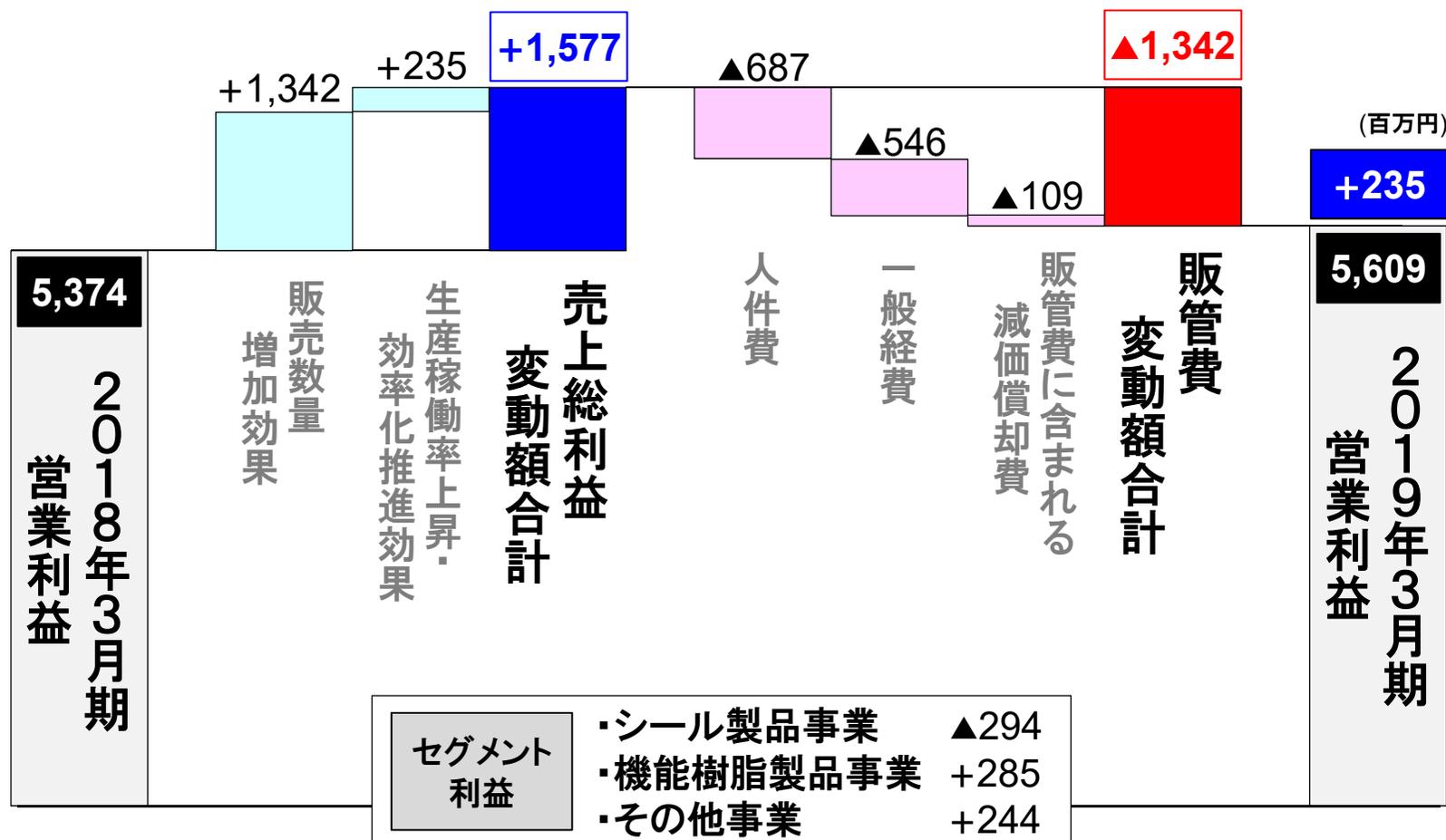
戦略投資を実行

攻め

R&Dの強化、生産拠点の能力増強・効率化

守り

リスクマネジメント体制の整備





市場別売上高・地域別売上高

2019年3月期

連結決算・事業概況

▶ 上期の先端産業市場の伸びが顕著

市場別売上高			
	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (前期比)
先端産業市場	133億円	151億円	178億円 (+17.9%)
機器市場	163億円	170億円	181億円 (+6.5%)
プラント市場	139億円	152億円	149億円 (▲2.0%)

先端産業:半導体製造装置、半導体ファブ、FPD関連、電子部品等
 機器:産業機械、建設機械、造船、航空機、自動車、官公庁等
 プラント:重化学工業プラント(新設・メンテナンス)、電力・ガス等

(備考)3市場合計値と連結売上高との差額は、“その他市場”による

▶ 海外売上高比率が上昇

地域別売上高			
	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (前期比)
国内	32,420	34,624	36,486 (+5.4%)
国内比率	74.3%	72.8%	71.2%
海外	11,219	12,968	14,757 (+13.8%)
海外比率	25.7%	27.2%	28.8%
アジア	8,934	8,923	10,165 (+13.9%)
北米	2,174	3,881	4,410 (+13.6%)
その他	110	162	181 (+11.2%)

(百万円)



セグメント別実績
シール製品事業

2019年3月期

連結決算・事業概況

- ・上期は堅調も下期に減速し、売上高は微増
- ・先行投資負担コスト増による収益率低下

セグメント 業績	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (前期比)
売上高	28,618	32,425	33,593 (+3.6%)
セグメント 利益	2,904	4,741	4,447 (▲6.2%)
利益率	10.1%	14.6%	13.2%



(百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (前期比)
市場別売上高			
先端産業 市場	66.0億円	95.0億円	95.5億円 (+0.5%)
機器 市場	127.0億円	133.0億円	140.0億円 (+5.3%)
プラント 市場	93.0億円	96.0億円	100.0億円 (+4.2%)

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (前期比)
地域別売上高			
国内	22,824	24,730	25,356 (+2.5%)
海外	5,794	7,695	8,236 (+7.0%)
海外比率	20.2%	23.7%	24.5%

(百万円)



セグメント別実績 機能樹脂製品事業

2019年3月期

連結決算・事業概況

- ・先端産業市場向け売上が拡大
- ・生産拠点の稼働率向上により収益性が改善

セグメント 業績	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (前期比)
売上高	11,550	12,446	14,313 (+15.0%)
セグメント 利益	780	492	777 (+57.7%)
利益率	6.8%	4.0%	5.4%

(百万円)



	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (前期比)
市場別売上高			
先端産業 市場	34.0億円	32.0億円	53.5億円 (+67.2%)
機器 市場	35.0億円	37.0億円	40.5億円 (+9.5%)
プラント 市場	46.0億円	55.0億円	48.5億円 (▲11.8%)

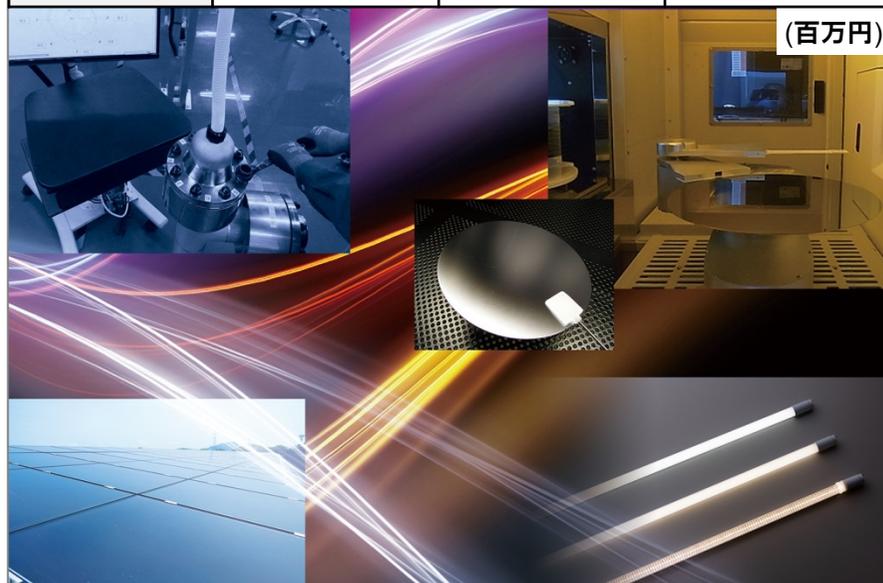
地域別売上高			
国内	7,966	8,403	9,561 (+13.8%)
海外	3,584	4,043	4,752 (+17.5%)
海外比率	31.0%	32.5%	33.2%

(百万円)



シリコンウエハーリサイクル事業が回復

セグメント 業績	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (前期比)
売上高	3,470	2,720	3,336 (+22.7%)
セグメント 利益	380	140	384 (+173.7%)
利益率	11.0%	5.2%	11.5%



	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (前期比)
市場別売上高			
先端産業 市場	32.5億円	24.0億円	29.0億円 (+20.8%)
その他 市場	1.5億円	2.5億円	4.0億円 (+60.0%)

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (前期比)
地域別売上高			
国内	1,629	1,490	1,567 (+5.2%)
海外	1,840	1,229	1,768 (+43.9%)
海外比率	53.0%	45.2%	53.0%

(百万円)



設備投資・研究開発・原材料価格影響

2019年3月期

連結決算・事業概況

設備投資(着工案件)

- ＜シール製品事業(国内・中国)＞
 - ・先端産業市場向け製品の生産体制拡充
- ＜機能樹脂製品事業(米国・中国)＞
 - ・先端産業市場・プラント市場向け製品の生産体制増強(特殊タンク製品)
- ＜その他事業(国内)＞
 - ・シリコンウエハーリサイクル事業の能力拡大

原材料価格変動影響

- ・ふっ素樹脂材料の値上がりにより製造原価増加

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (前期比)
設備投資額	1,324	2,073	2,289 (+10.4%)
＜参考＞ 設備投資額 (着工基準)	1,788	3,226	3,116 (▲3.4%)
減価償却費	1,449	1,526	1,716 (+12.5%)
研究開発費	871	919	1,068 (+16.2%)
研究開発費 比率	2.0%	1.9%	2.1%
原材料価格 変動影響	▲14	353	352

(百万円)



株主還元

2019年3月期

連結決算・事業概況

	第2四半期末 (中間)配当	期末配当	年間配当	自己株式取得	株主還元性向
2017年3月期	30.0円*	30.0円 15.0円 記念配当	75.0円*		56.4%
2018年3月期	40.0円	45.0円	85.0円	305.4百万円 端株取得分を含む	47.1%
2019年3月期	45.0円	50.0円 (予想)	95.0円 (予想)		40.9%
2020年3月期 (予想)	50.0円	50.0円	100.0円	—	53.3% 配当予想のみ

*2016年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施致しました

*2017年3月期の配当金につきましては、株式併合後の基準に換算し、記載しております



配当と自己株式取得をあわせた金額を「株主還元」と設定し、還元総額の親会社株主に帰属する当期純利益に対する比率、すなわち「株主還元性向」の50%を目標としつつ以下の事項を勘案し、株主還元を行う。

- ・将来の企業価値の最大化に向けた設備投資および研究開発投資ならびに戦略的投資の必要性
- ・リスク管理体制の強化や人材開発の拡充などの企業基盤整備ならびに事業環境の変動に対する備えの重要性

当社グループの連結株主還元性向は以下の基準を採用

連結株主還元性向＝

(当年度配当金総額＋当年度業績を基準とした自己株式取得額)÷当年度当期純利益



▷ 2019年3月期
連結決算・事業概況

▶ **中期経営計画**
“NV・S8” 戦略実行状況

▷ 2020年3月期
予想・計画



「THE VALQUA WAY」のもと「**H&S**」を軸とした
イノベーションで、健全で持続的な成長を目指す

H&S
企業

付加価値の高いH(ハード=商品)に、顧客視点に立った
真のS(シールエンジニアリング・サービス)を付加し、
顧客価値の最大化に向けたソリューションを提供する企業

ハード領域

融合領域

安全

技能

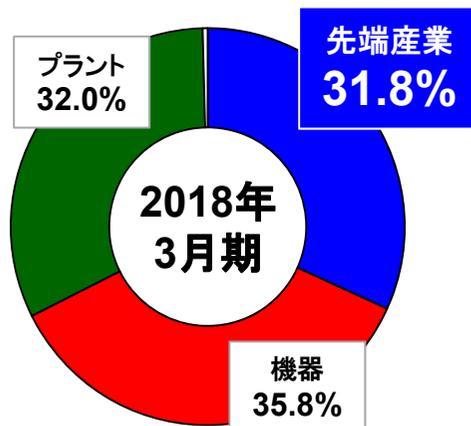
効率

シールエンジニアリング・サービス領域

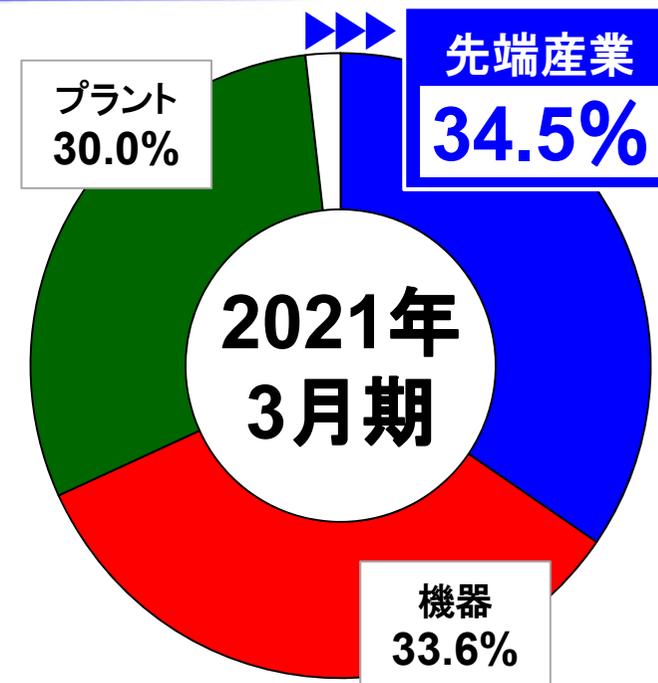
**顧客価値
の最大化**



“NV・S7”最終年度 市場別売上高	
先端産業	151億円
機器	170億円
プラント	152億円
その他	2億円



“NV・S8”最終年度 市場別売上高	
先端産業	190億円
機器	185億円
プラント	165億円
その他	10億円



2019年3月期 先端産業市場売上高

178億円 33%経過時点 進捗率 69%

戦略製品①

先端産業市場向け高機能シール製品

- …既存生産拠点の強化 ▶ 国内(設備更新)・韓国(ライン増強)
- …中国生産拠点完工(2019年9月商業生産開始予定)

戦略製品②

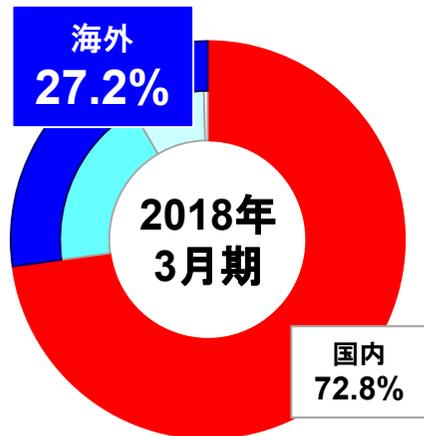
先端産業・プラント市場向け機能樹脂製品(特殊タンク)

- …中国生産拠点のライン新設
- …米国事業の再構築 ▶ グローバルサプライチェーンを再設計



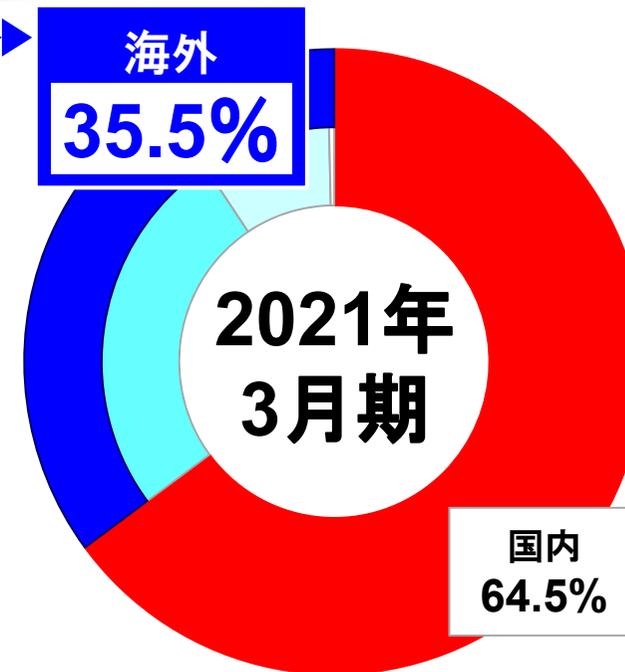
“NV・S7”最終年度
地域別売上高

国内	346億円
海外	129億円
アジア	89億円
北米	38億円
その他	1億円



“NV・S8”最終年度
地域別売上高計画

国内	355億円
海外	195億円
アジア	143億円
北米	50億円
その他	2億円



2019年3月期 海外売上高

147 億円 ^{33%経過時点} 進捗率 27%

グローバル 戦略①

販売機能の再編・強化

- …米国拠点の増員(技術者による顧客接点の強化)
- …ASEANと中国の販売体制を再構築

グローバル 戦略②

グローバルサプライチェーンの拡充

- …プラント市場向けシール製品の生産体制を整備
- …調達機能・生産委託網の強化

H&S
戦略①

シール技能・技術による顧客支援

- ・・・シール・トレーニング・センターと教育カリキュラムの充実
- ・・・船員教育用プログラムの国際認証の取得(世界初)

H&S
戦略②

課題解決型事業の展開

- ・・・特殊洗浄サービスなどエンジニアリング分野に進出
- ・・・IoTを活用した機器作動モニタリングシステムの開発



ユーザー目線の
テストを繰り返す
エンジニアリング
サービスの開発



蓄積された知見と
新たな技術との
融合による
モニタリングシステム



R&D
戦略

外部機関との協働による新たな価値の創造

- ・・・国立研究開発法人 産業技術総合研究所(産総研)
との“連携研究ラボ”の設立と共同研究の加速

官民一体で社会的要請に応え、社会的課題の解決に貢献 ▶▶▶



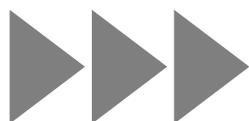


“NV・S8”
初年度の
成果

- ・先端産業市場向け高機能シール製品などの供給能力拡大投資はほぼ予定どおり進捗
- ・プラント市場向けシール製品生産体制の“選択と集中”による整備を計画どおり実行
- ・コーポレートガバナンス体制の強化を実施

“NV・S8”
2年度以降への
課題

- ・海外事業のさらなる拡大
- ・機能樹脂製品事業の収益性のさらなる改善
 - ・・・米国の特殊タンク製品関連子会社の業績改善
- ・H&S事業の業績貢献
- ・大型新製品の開発と市場投入
- ・生産技術の革新による生産性の向上



事業環境変化に応じた短期業績確保と
長期的な視点による成長投資・基盤整備を実行



▷ 2019年3月期
連結決算・事業概況

▷ 中期経営計画
“NV・S8” 戦略実行状況

▶ 2020年3月期
予想・計画



—— 2019年3月期下期来の景況悪化傾向が続く ——

	環境認識	業績への影響
先端産業市場	<ul style="list-style-type: none"> 半導体デバイス生産はメモリー価格低迷による生産調整長期化の懸念 設備投資は一部を除き停滞、回復時期も不透明 	<ul style="list-style-type: none"> シール製品事業 機能樹脂製品事業 その他事業
機器市場	<ul style="list-style-type: none"> 一般産業機器生産は調整が続き、停滞 自動車生産は通商問題など、不透明要素が多い インフラ関係は中国の景気刺激策次第では回復 	<ul style="list-style-type: none"> シール製品事業 機能樹脂製品事業
プラント市場	<ul style="list-style-type: none"> 国内大規模メンテナンスは案件数が減少 プラントの高度化・効率化投資が一部で具体化 高機能化学品の生産能力拡大への投資は堅調 	<ul style="list-style-type: none"> シール製品事業 機能樹脂製品事業

現時点で下期の景況回復は業績予想・計画数値には織り込んでいない



**“攻”
事業
推進**

- **H&Sによる収益の拡大**
…シールエンジニアリングの事業化に向けた基盤づくり
- **米国・中国事業の体制整備**
…地域に根付いた生産・R&D・販売体制の構築
- **自動化投資による生産革新**

**“守”
基盤
整備**

- **リスクマネジメント体制の拡充**
…コンプライアンス・品質管理体制の強化
- **海外現地コア人材の育成**



連結業績予想・市場別売上高計画

▶ 2020年3月期
予想・計画

“NV・S8”
当初計画

	2019年3月期	2020年3月期 予想 (前期比)	2021年3月期
売上高	51,243	50,000 (▲2.4%)	55,000
営業利益	5,609	4,600 (▲18.0%)	7,000
親会社株主に 帰属する 純利益	4,087	3,300 (▲19.3%)	4,800
営業 利益率	10.9%	9.2%	12.7%
ROE	12.4%	10.0%	12.5%

(百万円)

	2019年3月期	2020年3月期 計画 (前期比)
先端産業 市場	178億円	170億円 (▲4.5%)
機器 市場	181億円	181億円 (一)
プラント 市場	149億円	145億円 (▲2.7%)

*3市場合計値と連結売上高との差額は“その他市場”

*2020年3月期の予想・計画策定にあたり用いた為替レートは1米ドル=110円

*“NV・S8”の当初計画の前提為替レートは1米ドル=107円



地域別売上高・セグメント別業績計画

▶ 2020年3月期
予想・計画

	2019年3月期	2020年3月期 計画 (前期比)
国内	36,486	35,100 (▲3.8%)
国内比率	71.2%	70.2%
海外	14,757	14,900 (+1.0%)
海外比率	28.8%	29.8%
アジア	10,165	10,400 (+2.3%)
北米	4,410	4,300 (▲2.5%)
その他	181	200 (+10.5%)

(百万円)

		2019年3月期	2020年3月期 計画 (前期比)
シール 製品事業	売上高	33,593	32,200 (▲4.1%)
	セグメント 利益	4,447	3,300 (▲25.8%)
機能樹脂 製品事業	売上高	14,313	14,500 (+1.3%)
	セグメント 利益	777	900 (+15.8%)
その他 事業	売上高	3,336	3,300 (▲1.1%)
	セグメント 利益	384	400 (+4.2%)

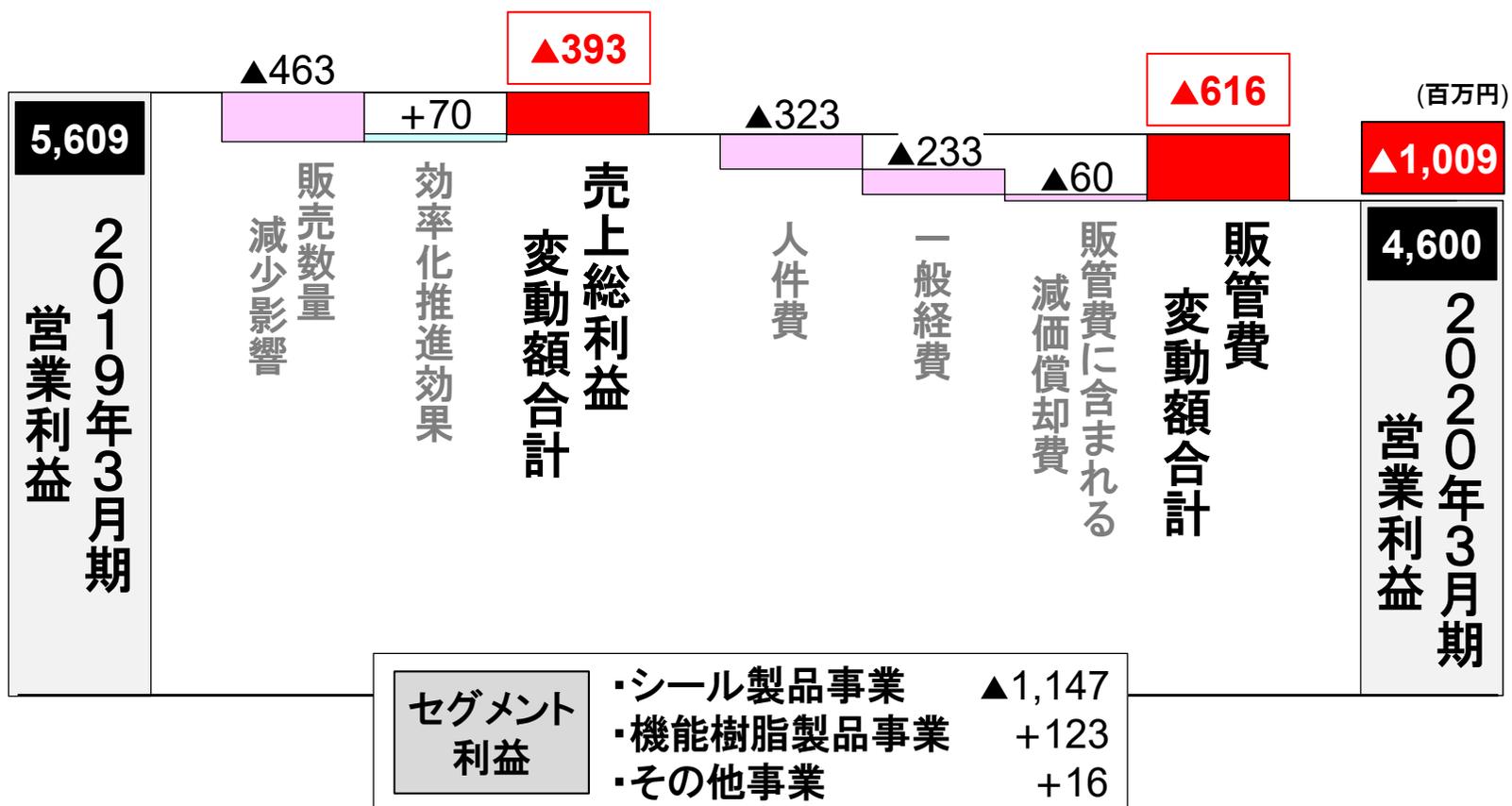
(百万円)



営業利益変動要因分解

▶ 2020年3月期
予想・計画

中長期的な視点に立ち、持続的な成長に向けた戦略投資を継続



	2020年3月期 計画(前期比)
設備投資額 (着工基準)	3,100 (▲0.5%)
減価償却費	1,900 (+10.7%)
研究開発費	1,200 (+12.4%)



(百万円)

	“NV・S7” 最終年度	“NV・S8” 最終年度	
	2018年3月期	2021年3月期	期間 変動率
売上高	47,592	55,000	+15.6%
営業利益	5,374	7,000	+30.3%
親会社株主に 帰属する 純利益	3,833	4,800	+25.2%
営業 利益率	11.3%	12.7%	+1.4pt
ROE	12.3%	12.5%	+0.2pt

業容の拡大・収益性の向上・
効率化の徹底により、

営業利益率・ROE

12%以上

- ▶ 戦略製品の拡充
- ▶ 海外事業の拡大
- ▶ ニッチ市場の開拓
- ▶ “H&S”による新たな価値創造
- ▶ “選択と集中”の継続
- ▶ 生産効率の飛躍的改善

収益のさらなる拡大

- ▶ M&Aを含む戦略投資も検討



持続的な成長を目指して — バルカーのESG

E

nvironment

▶ 「環境に優しいモノづくり」の徹底

- …環境規制を先取りしたモノづくりとR&Dの拡充
- …環境配慮型省エネ生産設備の導入
- …環境モニタリングの強化とCDPなどへの対応の推進

高品質・高機能製品とサービスによる貢献

- ・環境汚染の低減
- ・操業事故の防止
- ・現場安全の確保

S

ocial

▶ 「人・社会」との共生の推進

- …人材開発の拡充と人材のダイバーシティ化の推進
- …働き方改革への対応(人事制度・採用方針の適切な改訂)

リスクマネジメント強化による安定した企業基盤の構築

- ・コンプライアンスリスクの低減
- ・製品クレームの撲滅

G

overnance

▶ コーポレート・ガバナンス・コードへの適切な対応

- …取締役会の充実(2019年6月開催株主総会議案)
- …買収防衛策の廃止(2019年6月開催株主総会議案)
- …政策保有株式の縮減



ESGの取り組みを **E**arnings 収益の **S**ustainable 持続的な **G**rowth 成長へ！



THE VALQUA WAY

**Value
& Quality**
(価値の創造と
品質の向上)

基本理念

- ・社会の発展のために
- ・正正堂堂と
- ・世界中のステークホルダーへ
- ・独創的技術で

4つの
経営理念

行動指針
10項

- (1) 事業を通じた社会への貢献
- (2) 顧客感動の提供
- (3) 人格と個性の尊重
- (4) 株主との信頼関係の構築
- (5) 地域社会との共生
- (6) 安全衛生は全てに優先
- (7) コンプライアンス遵守と誠実な行動
- (8) 環境にやさしいモノづくり
- (9) 資産の保全と有効活用
- (10) チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり